

「いまも1日平均28人が結核と診断されています。」 (厚生労働省)

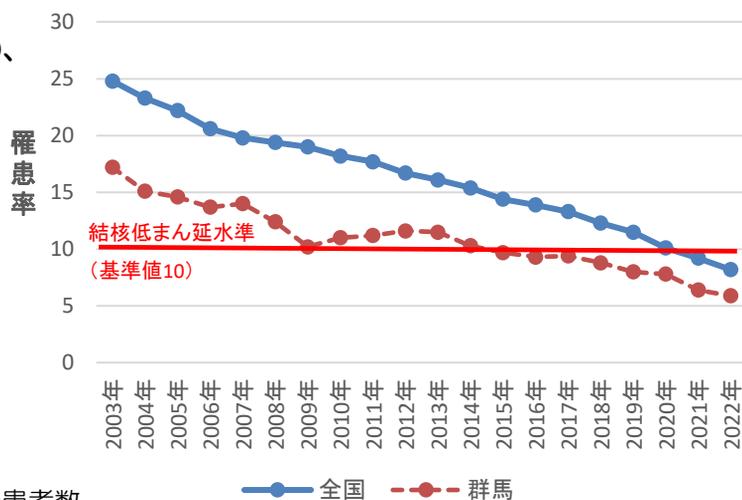
9月24日～9月30日は、結核予防週間です!

◆ 患者発生状況

- 群馬県では、令和4年(2022年)に112人の患者が新たに登録されました。年齢別では、70歳以上が半数以上を占め、依然として高齢者が多い傾向にあります。
- 令和3年(2021年)に日本は初めて結核低まん延の水準(罹患率*10以下)を達成しました。(群馬県は平成27年(2015年)に水準を達成しています。)
- 令和4年(2022年)も前年より新登録患者数は減少しましたが、今後の動向も注視していく必要があります。

※人口10万人あたりの新登録患者数

結核罹患率*年次推移



◆ どんな病気?

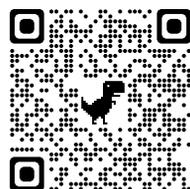
- 結核は、結核菌による感染症です。患者が咳やくしゃみなどをした時に出るしぶきと一緒に菌が空気中に飛び散り、それを吸い込むことで感染します (**空気感染**)。
- 発病するのは感染者のうちの2割程度で、多くの人は免疫の働きによって発病しません。しかし、加齢や病気などで免疫力が落ちると結核菌が再び活動を始め、発病しやすくなります。
- 発病すると、咳や痰、微熱など風邪のような症状が出ます。肺以外の臓器が冒されることもあります。結核は、決められた期間きちんと薬を飲み続ければ治ります。

◆ 早期発見・早期治療が重要です!

- **咳や痰、微熱、体のだるさ**が2週間以上続く場合には、早めに医療機関を受診する。
- 事業所、学校、施設などで実施される**結核健康診断(胸部レントゲン検査)**を受ける。
- 65歳以上の方は、年に1回の健康診断が義務付けられており、**市町村で無料で受診**できるので、必ず受ける。



★ 詳しい情報はこちら(結核について) → <https://www.pref.gunma.jp/page/3321.html>



* この情報に関するお問い合わせ先: 群馬県感染制御センター(群馬県衛生環境研究所)

TEL: 027-232-4881 E-mail: kansenseigyoc@pref.gunma.lg.jp